

はなみどPAPER

はなみど情報センター広報誌 | 2022.7-12月 [TAKE FREE](#)

特集① やさしい園芸ライフテラリウム・着生編ー

13



はなみど探検隊 13 | 今号の表紙 場所:味舌水路遊歩道 写真:東郷憲志

阪急相川駅から徒歩約5分。済生会吹田病院から川園ポンプ場間の緑道水路を、味舌水路遊歩道と言います。緑が生い茂るトンネルは、歩いているだけで自然を体感できる地域の癒しの場です。はなみど探検隊は虫の目線で緑の小道を散策。季節の植物やかわいい虫たちとの出会いに目を丸くしていました。

やさしい園芸ライフ

–テラリウム・着生編–

日々少しずつ変化する植物たち。育てているからこそ気が付く昨日とは違う表情に、驚きや発見がいっぱいです。今回は、植物の息吹を感じる育て方・飾り方をご紹介します。

テラリウム



ガラスの中の小さな癒しの世界

テラリウムとは、ガラスなど光を通す容器の中で小形の植物を育てることです。植物が呼吸することで容器内に循環が生まれ、一定の環境を保ちます。ふたを閉めて乾燥を防いだり、開けて蒸れないように空気を入れ替えるなど、植物の様子をみながらコントロールします。湿度を好み、成長がゆるやかで、強い光を必要としない小さめの植物を選ぶことがポイントです！



コケのテラリウムを作ってみよう！



作り方 事前準備として、コケを1本づつすいで洗浄して不純物を取り除いておきます。植えやすいようにコケの根元をカットします。

①用土を入れる → ②用土を湿らせる → ③コケを植える → 完成！小物を飾のもおすすめ



管理の方法 ◎室内の直射日光の当たらない、明るい場所に置こう。植物用のLEDライトもおすすめ。

◎1週間に1・2回くらいのペースで霧吹きを、伸びてきたら剪定を。 ◎ルーベで観察すると更に楽しい。

私が教えます！



古田ルミさん

花とみどりの情報センター植栽管理、講習会担当。以前は「咲くやこの花館」で熱帯雨林班としてランや観葉植物などの栽培・展示を手がける。

着生



インパクトのある
フォルムの葉を持つ
ピカクシダは
インテリア性抜群。



実は育てやすい！おしゃれに彩る着生植物

着生とは植物が木の幹や岩などに根を張って生育することで、そのような環境に自生する植物を着生植物といいます。最近インテリアショップなどで見かけるピカクシダや、100円ショップでも手に入るエアプランツ、お祝いに贈られるコチョウランなどは代表的な着生植物です。コルク板や流木などに仕立てると、鉢植えとは違った楽しみ方ができます。まずは気軽にチャレンジしてみましょう！

着生に使う主な材料

着生材



着生植物の種類や作りたいイメージに合わせて素材を選びましょう。(左から)流木、ヘゴ、コルク、工作用の平板などは大きな園芸店や、ホームセンターで手に入れます。

道具



ミズゴケは根の保護や水分保持で活着を助けるために、ワイヤー、テグス、麻ひも、結束バンドは植物を着生材に固定するために使います。

鍋敷きが着生材に変身



既製品の木製の板なども、アイデア次第で着生材として活用できます。

張り付いていくワイルドな根が魅力 着生植物をコルクづけしてみよう！

準備するもの



※ネオレギアは熱帯などに分布する着生植物です。

作り方

配置を決めて穴をあけ、固定すれば完成！根を着生させるにはぐらつかない事が大切なのでがっちり固定しましょう。



育て方

- ◎15℃以上の気候は屋外でしっかりと光と風を当てる。
- ◎1週間に1回程度、コルクづけの植物全体にたっぷり水やりを。ネオレギアは中央のタンクに水を貯めておく。
- ◎風通しの良い場所なら毎日霧吹きをしてOK。



うちとまちを
彩る!

はなみどのアプローチ

プロジェクトやイベントなど「はなみど」のさまざまな取り組みを紹介します。

Event つつつ市 いち

開催日:2022年2月19日(土)、3月19日(土)、5月21日(土)、6月25日(土) 場所:千里南公園

昨年7月に引き続き「つかう・つくる・つどう」をテーマに、ちいさなマーケットを開催しました。この日は、土ほかしコーナーをはじめ飲食や食品などのお店が園路沿いに出店し、公園を利用するみなさんとのコミュニケーションが弾みました。はなみどブースでは植物や園芸用土の販売のほか、毎回ワークショップを企画。2月・5月は季節のお花の寄せ植えワークショップ、3月・6月は参加者のみなさんと一緒に新しい公園のつかい方について考えるワークショップを行いました。



3月はコーヒー1杯の値付けから空間の価値について考えるワークショップを開催。



2月・5月は季節のお花の寄せ植えワークショップを企画。お好みの花を3ポット選んで植え付けました。

Project

すいた街の木プロジェクト

開催日:サクラみもり講座 2022年4月9日(土)、6月11日(土)他、全3回／すいたの樹木ガイド 第4土曜日に開催、年9回



不定根は地中の根以外の部分から出て、根の役割をします。

2022年4月の樹木ガイドは千里北公園から水遠池へ。

樹木医と一緒に千里南公園でフィールドワークを行いました。

「サクラみもり講座」では、樹木医の先生の指導を受けながらサクラの観察方法を学び、実際に弱ったサクラの樹勢回復に取り組んでいます。第1回目は不定根づくり、第2回目は発根の確認をしました。サクラをはじめ、街の緑を元気に美しく育んでいくためには、市民のみなさんの力が不可欠です。その一環として街の木に興味を持って親しんでもらえるよう「すいたの樹木ガイド」を開催。公園や緑地など毎回場所を変えて、新緑や紅葉、花や果実など樹木の見どころを紹介しています。

はなみど講習会レポートカレンダー

2022 1月

2月

3月

Garden Seminar

はなみどガーデンセミナー@いずみの園公園

開催日:2022年4月2日(土)、5月7日(土)、6月18日(土)他、全8回

吹田市文化会館メイシアターに隣接するいずみの園公園の花壇を使って、市民のみなさんと一緒に花壇づくりを始めました。年間を通しての連続講習会となり、プロのガーデナーと一緒に季節ごとのお花のお手入れをしながら、楽しく園芸を学んでいます。どんな素敵なお花壇になっていくのか、これからがとても楽しみです。



4月はまず草引きなど植付の準備をしてから、トサミズキなどの落葉低木や、一年草や多年草を植え付けました。



5月はペチュニア、ブルーサルビアなどのほか、綿花やコスモスの種をまきました。



Event

はなみど号がやってくる

開催日:2022年4月2日(土)、5月7日(土)他、全8回
場所:いずみの園公園



花とみどりの情報センターの機能の一部を「はなみど号」に乗せて、市内の公園などに出張します。今年度は「いずみの園公園」を拠点として、園芸相談・小分けの用土や植物の販売・寄せ植えづくりの体験などを中心に、花やみどりのある生活を提案します。ぜひ一度お気軽にのぞいて見てください。スタッフが厳選した季節の花苗で寄せ植えをつくりませんか。

Lecture

ベゴニアのテラリウム

開催日:2022年3月26日(土)



個性的な葉の形や模様が美しいベゴニアを、ガラスの容器の中で育てるテラリウム作りの講習会を行いました。ベゴニアは花壇などでおなじみのセンパフローレンスの他にもたくさんの種類があり、今回はテラリウムに向いた小型の根茎性ベゴニアを使いました。かわいい花の咲いた苗もあり、ご自身で植え付けたテラリウムを嬉しそうに見つめている姿が印象的でした。

はなみど講習会レポートカレンダー

2022 1月

2月

3月

4月

5月

6月



●和の苔テラリウム(1/30)



●森の木のお話とミニいす作り(2/13)
●ボタニカルクラフトを楽しもう(2/17)



●掛けて飾れる小さな寄せ植え(3/6)
●セダムのリース作り
@江坂(3/15)
●春のお花のギャザリング(3/17)
●ベゴニアのテラリウム(3/26)



●プランツ・ギャザリング
中級・初級コース(4/21)



●プランツ・ギャザリング中級・初級コース(5/19)
●苔のテラリウム(5/24)



●アジサイの剪定を学ぼう@江坂(6/9)
●プランツ・ギャザリング
中級・初級コース(6/16)

木とともにだちになる

知ること、あそぶことで、当たり前にある木が身近な存在に！



人間にも鳥にも活用させる身近な存在

シユロはヤシの仲間にしては寒さに強く、福島県の街路樹などにも使われています。南国の雰囲気を出すのにならぬでよい植物です。雌雄異株で、雄は大きなカズノコみたいな花をつけます。シユロは幹の繊維がタワシ、シユロ縄、ホウキなど、繊維をとった幹はそのまま鐘つき棒として利用されます。野鳥も最近巣材が乏しく、ビニールテープなどを使っていますが、巣の内側だけは自然素材のシユロの繊維を使っています。鳥がシユロの種を運び、それを鳥が巣材として使う。鳥自らが建築材料を栽培しているかのようです。シユロは成長点がてっぺんにあり、毎年積み重なるように幹が伸びていきます。だから木のように年輪で太くはならず、どんどん高くなります。繊維を取られた裸の幹に、部分的に細い所があれば、その高さのときに移植

や乾燥などで苦労したと思われます。葉っぱの葉脈を飛ばす遊びは、スキなどが本家ですが、手を切るので敬遠されています。シユロの葉は手を切りませんが、昔の子のように手を切らないで遊ぶスキルは身に着きません。



▲カズノコみたいな
シユロの雄花



▲鐘つきに使用される幹

＼岩谷先生流／ 木とあそぼう！

昔の人の知恵に学びつつ、今風にアレンジしたあそびをご紹介。木とあそぶ体験がきっかけで、身近な木とともにだちのような関係になれるかも。みどりを大切に思う気持ちがあなたの心に芽生えますように。



▲葉脈の硬さが足りないとこの状態で葉脈が折れまがるので硬いものを選びます。

STEP1 シュロの葉を切る



たくさん飛ばすのでまとめて切っておく。
葉はすぐにしおれるので使う直前に切る。

STEP2 葉の元を割く



葉の元を葉脈にそってつまようじまたは爪をさして10cmぐらい割く。

STEP3 切り落とす



割いていない部分を10cmぐらい残してハサミで切り落とす。長く残すとうまく飛びません。

STEP4 セットして飛ばす



写真のように利き手でないほうの手に葉をセットし、利き手で下へ出た葉を持ち、勢いよく下へ引っ張ると葉脈が前へ飛ぶ。

一応用編一

スキのほうはよく飛ぶので、シユロで練習をしてからスキで挑戦するのもおすすめ。スキの場合は手を切ることもあるので、葉の方向、持ち方などを工夫してみよう。シユロでは他にもバッタなどを作ることがで、草地に隠して見つけあいっこしても楽しい。

教えてくれた人／岩谷美苗さん

1967年島根県生まれ。東京芸大学卒業後、森林インストラクター第一期の試験に合格し、女性初の森林インストラクターとなる。1998年、樹木医に。2000年、INPO法人樹木生態研究会を設立。現在、「街の木らぼ」代表。「木で笑いが取れたなら幸せ」をモットーに、講演・出張授業等を多数おこなう。『新刊のお知らせ』見て、嗅いで、触って楽しむ散歩で見かける「樹木の見分け方図鑑」好評発売中

はなみど「アルバム」#はなみど



インスタグラムにて「はなみど」に関する投稿の中から、
とっておきの一枚をご紹介

#はなみど #半径2kmの #うちのみどりまちのみどり

「花とみどりの情報センター」のインスタグラム更新中！おうちで育てているお気に入りの植物や穴場の紅葉スポットなど、みなさんのご近所(#半径2km)ので発見したボタニカル情報をお待ちしております。ぜひ左記のハッシュタグをつけて投稿してください。投稿していただいた写真の中から、「はなみどPAPER」でご紹介させていただきます。



kaeland88

...



アロマキャンドルとアロマサシェ～!!
やっぱり作るのが楽しい！

#吹田市#はなみど#ワークショップ



moricafe_35

...



今日は出遅れました。でも無添加のたくあん漬け～買えました。

#はなみど#つつし市



coconi_no_koto

...



種から植えたイチゴの実がついたー^々

#イチゴの種を植えてみた#ベランダ栽培

#半径2kmの



m.t_bloom

...



この季節はサクラが満開。素敵な公園の有効利用したいなあ～

#桜の季節#昔からある場所#千里南公園
#まちのみどり



esakairo

...



緑あふれる江坂公園は市民にとって大事な場所のひとつ。

#江坂公園#はなみど#春花桜



mie.bon

...



6月の作品、観葉植物を使っての「鳥かごギヤザリング」

#プランツギヤザリング#ガーデニング#うちのみどり

はなとみどりの①情報センター

阪急南千里駅前 千里ニュータウンプラザ1F 〒565-0862 吹田市津雲台1-2-1 [TEL] 06-6155-1987 [FAX] 06-6831-5087
[開館時間] 10:00～18:00 [休館日] 毎週月曜日、祝日、年末年始 ※祝日が月曜日のときはその翌日も休館

講習会やイベントの最新情報はHPでもご紹介！

HP <http://www.suitahanamido.com>



※写真はイメージです。※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントなどが変更、中止になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

発行：吹田市花とみどりの情報センター 指定管理者：株式会社日比谷アメニス

取材：吹田市花とみどりの情報センター 編集・デザイン：G_GRAPHICS INC.

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS